

令和7年度 厚岸湖・別寒辺牛湿原学術研究奨励補助金

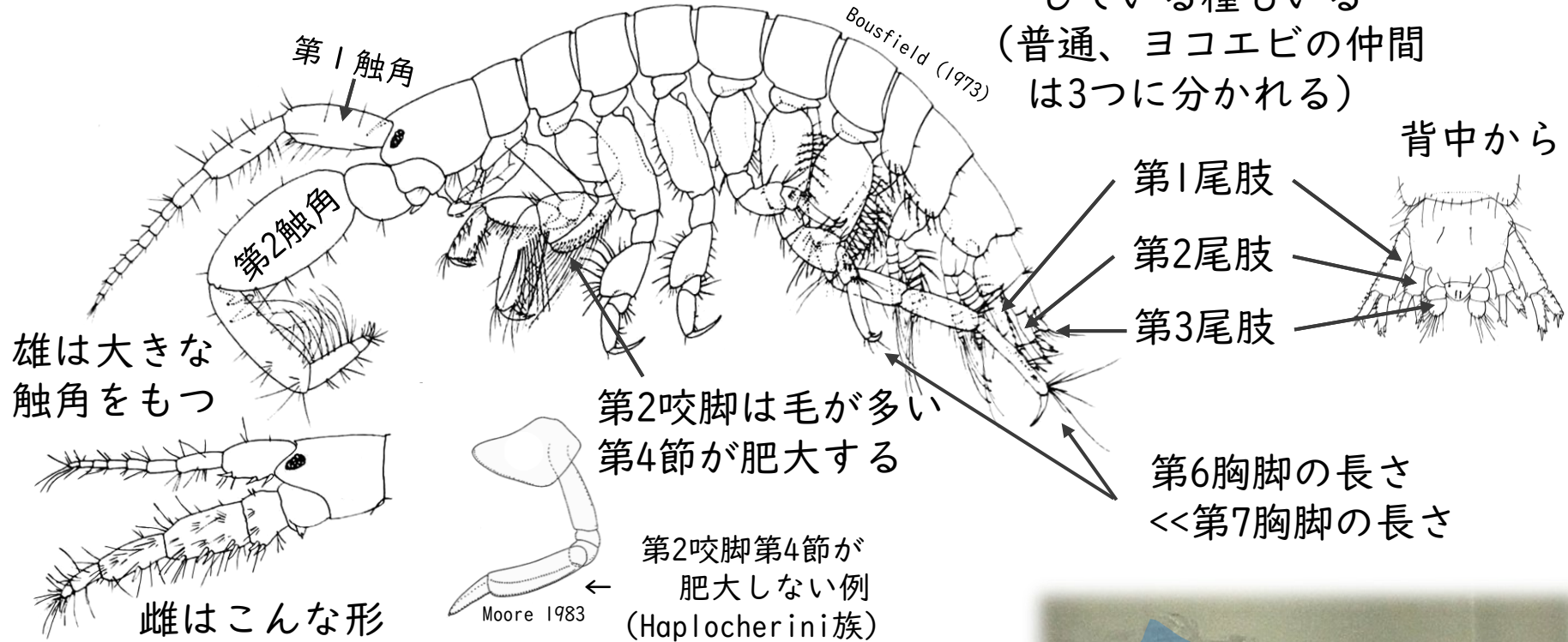
厚岸湖・別寒辺牛湿原における ドロクダムシ相と生態的特性の解明

向田ゆき子（広島大学大学院人間社会科学研究科）



調査対象ドロクダムシ族とは

尾節が1つに癒合している種もいる
(普通、ヨコエビの仲間は3つに分かれる)

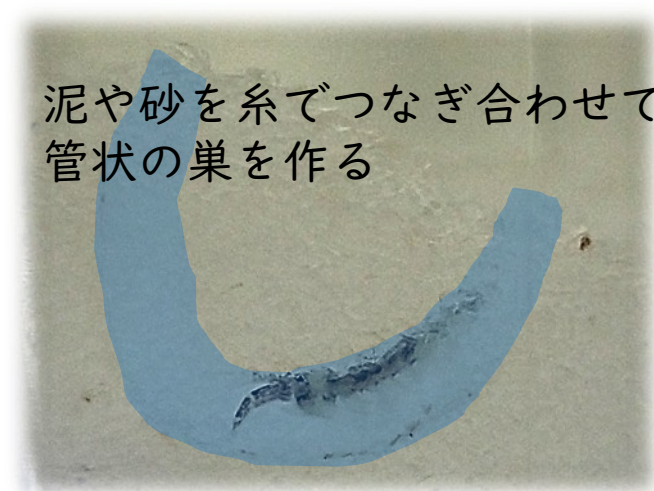


ドロクダムシ族の分類

- 節足動物門 (昆虫・蜘蛛など)
- 甲殻亜門 (ミジンコ・フジツボなど)
- 軟甲綱 (エビ・カニ・ヤドカリなど)
- 端脚目 (ヨコエビ・ワレカラなど)
- ドロクダムシ科 (狭義のドロクダムシ以外も含む)
- ドロクダムシ族 (Tribe: Corophiini) ←ここ!

実際の大ささ
↓

泥や砂を糸でつなぎ合わせて
管状の巣を作る



Tribeは、動物だと「族」と訳しますが、植物では「連」と訳します

ドロクダムシの種多様性と生息環境を明らかにすると…

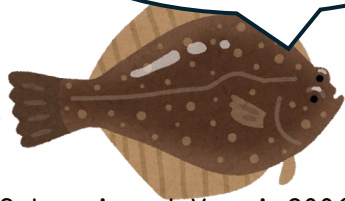
ドロクダムシは生態系の立役者！

春に沢山いるのが
嬉しいな！

小さなころは
ドロクダムシを
食べます！



鳥類や魚類
の餌資源

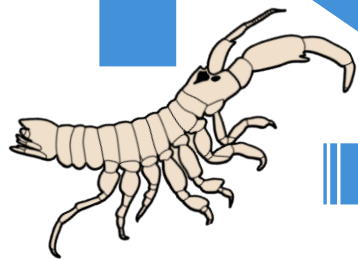


Sakurai and Yanai 2006

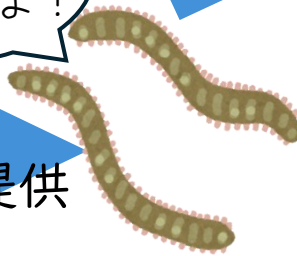
僕たちの
大家さんだよ！

他生物へ
生息環境提供

Hong, 1988



ドロクダムシ



厚岸では…？

種レベルで何が
いる？

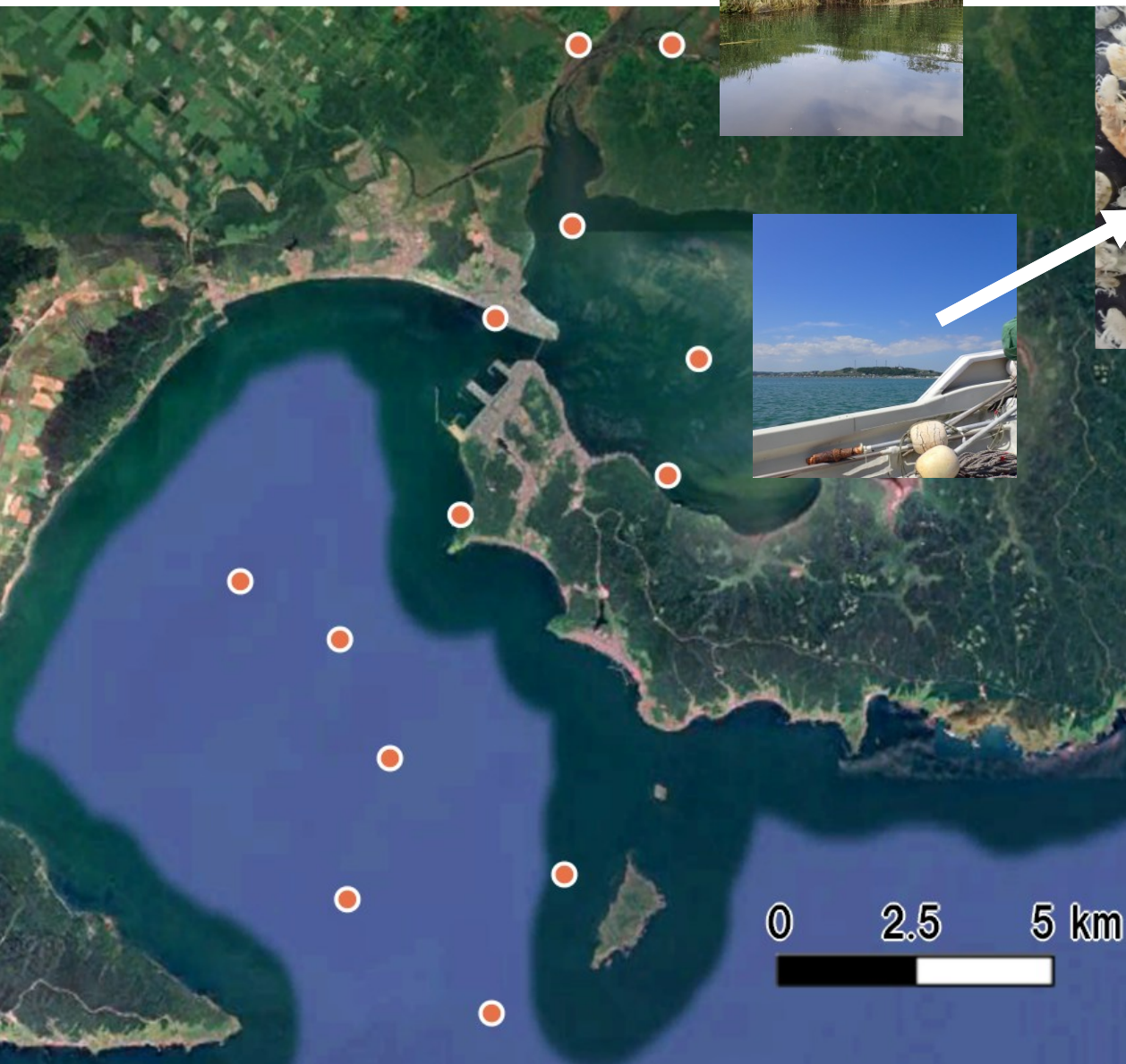
それぞれの種は
どこにいる？

どうやって暮ら
している？

ドロクダムシのような小さな生き物を知ることが
水産資源や希少生物の保全につながる

調査地点

厚岸湾3箇所
別寒辺牛川2箇所
厚岸湾 8か所



船などで採ってきた生物を...



採集してきた
他の生物と分ける



過去の標本と共に
顕微鏡下で形態比較

標本調査で得られた ドロクダムシ



標本番号：Hrs.D-B53 (左；雄) ,Hrs.D-B56 (右；雌)
採集日：2023/07/26 採集場所：大黒島沖
採集者：関岡寛知氏

トゲドロクダムシ

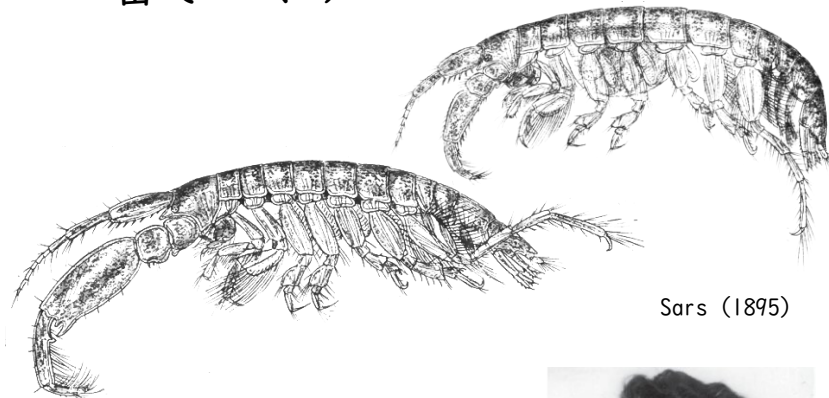
Crassikorophium crassicorne (Bruzelius, 1859)

世界各地で報告されている。
名前の通り雌の触角が太くてとげとげしていることが特徴だが、厚岸の個体は細く、あまりとげとげしていない。



他の地域産では
第2触角が太く
とげとげしている

ノルウェーで見つかったものと
一番そっくり



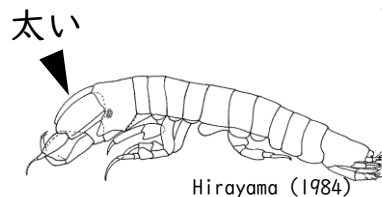
Sars (1895)

ロシアのバルト海
や日本海にも同じ
ものがいるわ！

Gurjanova, E.F. (1951)

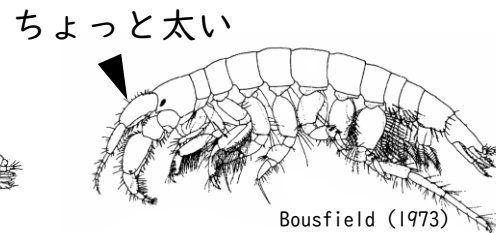


ソ連 (今のロシア) の生物学者 グリャノワ



Hirayama (1984)

西九州



Bousfield (1973)

アメリカ

西九州とアメリカのものは第1触角が太い

厚岸のトゲドロクダムシはノルウェーやロシアのものと似ている
ノルウェー・ロシアのものとアメリカ・西九州のものが同じかは不明

結果

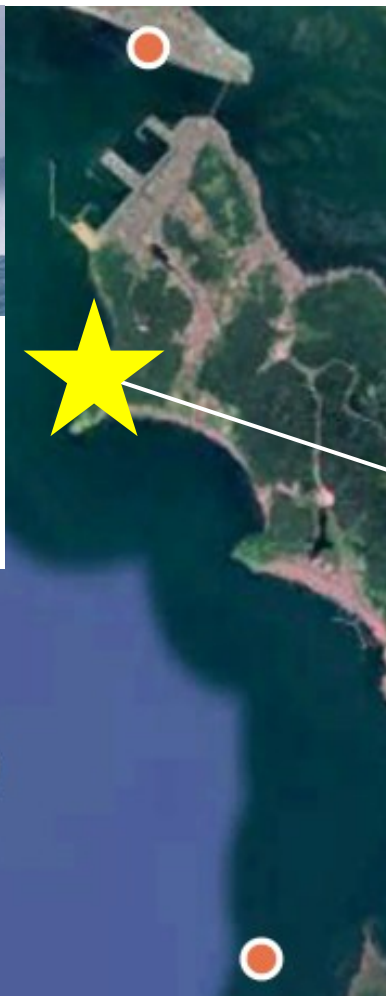
厚岸湾

厚岸湾沿岸の磯



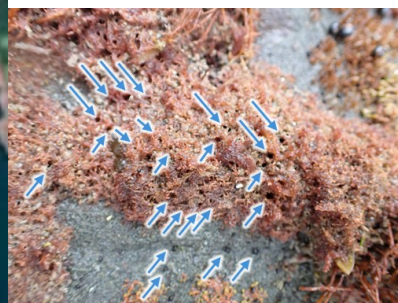
北海道大学HP

沖合は船で調査
しかしドロクダムシ属は
採れなかった



標本番号：Hrs.D-B53 (左；雄), Hrs.D-B56 (右；雌)
採集日：2025/07/10 採集場所：43.019825, 144.836030

ウエノドロクダムシ
Monocorophium uenoii (Stephensen 1932)



厚岸湾沿岸の磯に多
数生息していた
←このような環境に
巣穴が観察できる

九州以北の日本全国で普通に見られる
潮間帯上部に生息する
雌の第1触角柄部第1節内側の棘が曲がる

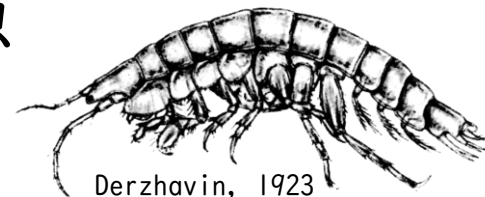
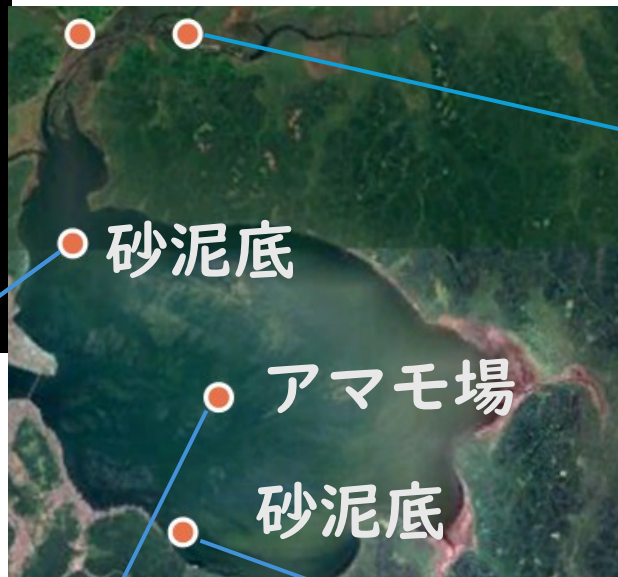
→厚岸湾は厚岸湖よりも
はるかに低い個体密度

厚岸湖 別寒辺牛湿原



標本番号：Hrs.D-B69(雄)
採集日：2025/07/08
採集場所：43.06725, 144.8606778

↑トンガリドロクダムシ
Monocorophium insidiosum
(Crawford, 1937)
世界各地で見られる。
潮間帯下部～潮下帯で
見つかることが多い。
人工的な環境も好む。



Derzhavin, 1923
ドロクダの代わりに
カマカがいた



標本番号：Hrs.D-B76(雄)
採集日：2025/07/08
採集場所：43.02630556, 144.8814278

↑アリアケドロクダムシ
Monocorophium acherusicum
(A. Costa, 1853)
世界各地で見られる。潮下
帯の砂泥底で見つかるこ
とが多い。厚岸湖ではチカラ
コタン付近で優占し、最も
個体密度が高かった。

✓サラドロクダムシ属の1種
Apocorophium sp.
尾節が吸盤状で、他のもの
にくっつくことができる。
これまで海藻が生える環境
で見つかっている。
厚岸湖ではアマモ場に低密
度で生息する。



標本番号：Hrs.D-A92(雌)
採集日：2025/06/25
採集場所：37.307741, 137.231780

厚岸湖では環境に合わせて多様な種が生息している

厚岸のドロクダムシの見分け方

スタート!

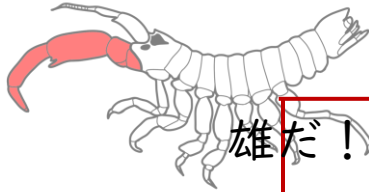


NO
トゲドロクダムシ

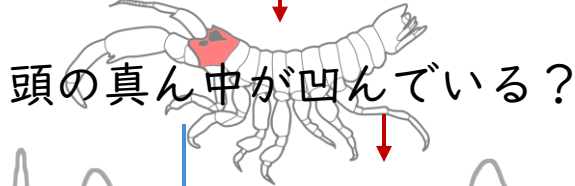
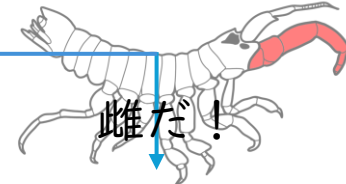
YES



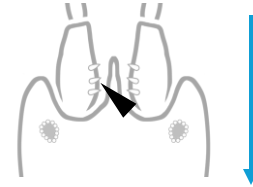
サラドロクダムシ属の1種



第2触角はよく目立つ？

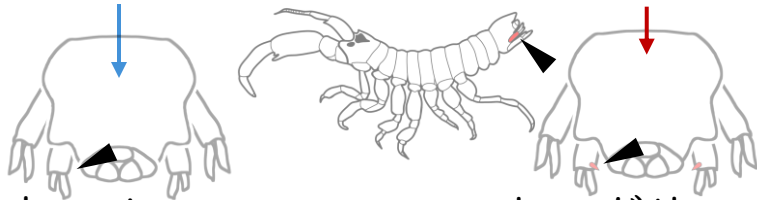


第1触角第1節内側の棘は曲がった1対？

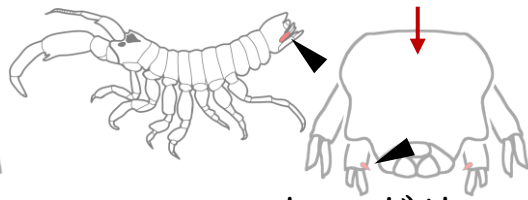


第2尾肢柄部内側先端には棘がある？

第2触角第4節の、
下側の棘状刺毛は4列以上？



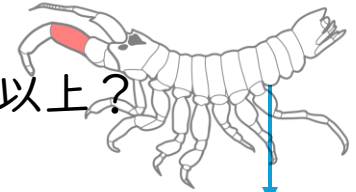
ウエノ
ドロクダムシ



トンガリ
ドロクダムシ



アリアケ
ドロクダムシ



トンガリ
ドロクダムシ